資料2

令和7年度研究会の進め方（事務局案）

目次

1. 令和7年度研究会の進め方

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議

3. 令和8年度業務効率化に向けた構成員へのヒアリング

4. 8月末改定に向けたスケジュール

1. 令和7年度研究会の進め方

1. 令和7年度研究会の進め方
本年度の国民年金システム標準化研究会

「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に基づき、地方公共団体や事業者の意見を反映させるための検討会として本年度も研究会を立ち上げます。本研究会では、標準化の範囲や仕様の精度を高めるための議論を進めるとともに、研究会を合意形成の場として親会とし、議論及び検討の場としてWTとベンダー分科会を設けています

国民年金システム標準化研究会（親会）

有識者

中川健治（座長）	株式会社ECO経営企画室代表取締役
立石　亨	公共システム政策研究所　代表

自治体代表

- 兵庫県神戸市　（政令指定都市）
- 東京都江戸川区　（特別区）
- 千葉県松戸市　（人口20万~中核市）
- 愛知県豊川市　（人口10~20万）
- 福岡県筑紫野市　（人口5~10万）

システム事業者（ベンダー）代表

- 株式会社RKKCS
- 株式会社TKC
- 日本電気株式会社
- 株式会社電算
- 富士通Japan株式会社
- 株式会社日立システムズ

オブザーバー

事務局

ワーキングチーム（WT）

有識者
研究会と同

自治体代表
研究会と同

オブザーバー

事務局

ベンダー分科会

システム事業者（ベンダー）代表
研究会と同

オブザーバー

事務局

オブザーバー：　日本年金機構、デジタル庁等
事務局：　年金局事業管理課
デロイトトーマツコンサルティング合同会社

1. 令和7年度研究会の進め方
本研究会で討議・確認する取り組み対象一覧

標準準拠システムへの移行期限が迫っていることに鑑み、本研究会では法令・制度改正への対応は1件、令和8年度以降の業務効率化に向けた事項を5件、計6件について討議および報告を実施する計画としています

No.	取組内容	区分	議題案	仕様書等への反映時期
1	法令・制度改正への対応	討議	育児期間保険料免除措置の創設に伴う標準仕様書の改定	令和7年度
2	令和8年度以降の業務効率化に向けた事項	討議	「被保険者・受給者情報管理」機能の拡充（年金相談）	令和8年度以降
3		報告	出入国在留管理庁とのデータ連携の実現（国籍変更報告等）に向けた検討	
4			標準化後の「16歳以上19歳未満の扶養親族数」の確認方法	
5			「書かない窓口」の実現に向けた検討	
6			「交付金事務」の業務改善等に係る検討	

※ 3月時点では、「自治体情報システム標準化における日本年金機構とのシステム連携による効率化」の実現に向けた検討を含めた7点としておりましたが、同テーマは今年度の対象外とし、6点について取り組む方針としています

1. 令和7年度研究会の進め方
本研究会のスケジュール

現時点でのスケジュールとしては、標準仕様書の改定は8月末に実施しますが、1月末の改定と正誤表の作成は実施しない計画としています。今後対応する必要性が発生した場合は改めてご相談します

業務		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マイルストン・会議体	マイルストーン		改版標準仕様書（令和7年度）発出（8/29） 育児期間における保険料免除措置			▼							
	研究会			第1回 ▼		第2回 ▼							第3回 ▼
	WT		第1回 ▼					第2回 ▼			第3回 ▼		
	分科会		第1回 ▼					第2回 ▼				第3回 ▼	
ア. 改定標準仕様書の作成	（ア）WT及び分科会の開催	進め方整理	WT・分科会準備 / 研究会準備		研究会準備		WT・分科会準備			WT・分科会準備		研究会準備	
	（イ）改定標準仕様書案に対する意見照会及び整理		意見照会準備	意見照会	意見集約	公表準備							
	（ウ）改定標準仕様書作成業務					研究会結果反映 領域間調整							
イ. 正誤表の作成							正誤表作成						
ウ. 令和8年度以降の業務効率化に向けた検討				下期の検討に向けたヒアリング等の実施及びとりまとめ			個別検討課題 被保険者・受給者情報管理」機能の拡充（年金相談） 出入国在留管理庁とのデータ連携の実現 標準化後の「16歳以上19歳未満の扶養親族数」の確認方法 「書かない窓口」の実現に向けた検討 「交付金事務」の業務改善等に係る検討						
エ. 報告書の作成												報告書作成	
オ．その他		各種支援（特定移行支援システム対応など）・PMOツール質問対応											

☞ 8月末の改定までは標準仕様書の改定にフォーカスし、9月以降に令和8年度以降の業務効率化に向けた検討にフォーカスする。
ただし、8月末までの間、令和8年度以降の業務効率化に向けてできること（ヒアリング）は並行して実施する方針としています。

２. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
8月末の改定対象一覧

令和7年度　8月末に向けた標準仕様書の改定対象は、法令・制度改正への対応、令和6年度からの申し送り事項（誤植対応等）、標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化の3点に分類されます

No.	検討テーマ区分	区分	概要	対象数
1	法令・制度改正への対応	討議	• 育児期間保険料免除措置の創設に伴う標準仕様書の改定	13件
2	令和6年度からの申し送り事項※	報告	• 令和6年度の改定不備の対応 - 機能ID:0260480の「要件の考え方・理由」欄の修正 • 誤植対応 - 機能ID:0260336の誤植対応 • 令和6年度決定事項の反映 - 外国人氏名を入力した際の規則適用	3件
3	標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化	報告	• 類似する機能要件の記載方法の統一	2件

※ 令和6年度からの申し送り事項については、標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化の一環となります

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧

第1回WTからの修正箇所
- No.3の概要を報告対象から送付対象に修正
- No.9～11の概要に区分を括弧書きで追記

法令・制度改正への対応による改定対象は、ツリー図、業務フロー、機能・帳票要件、帳票詳細要件、帳票レイアウトに区分されます。

No.	区分	概要
1	ツリー図	「ツリー図」の「No.2 免除」に新規業務フロー「2.5. 育児免除申請書受理・審査」の項目を新規追加する。
2	業務フロー	既存の業務フロー(2.4. 産前産後申請書受理・審査)に新規帳票名を追加する。
3	業務フロー	既存の業務フロー(5.1. 年金機構への報告・送付)の**送付対象**に新規帳票名を追加する。
4	業務フロー	「育児免除申請書受理・審査」の業務フローを新規追加する。
5	機能・帳票要件	育児免除に係る登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(実装必須機能)
6	機能・帳票要件	育児免除に係る登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(標準オプション機能)
7	機能・帳票要件	育児免除に係る履歴の登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(実装必須機能)
8	機能・帳票要件	育児免除に係る履歴の登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(標準オプション機能)
9	機能・帳票要件	国民年金保険料育児免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できる機能を新規追加する。**(実装必須機能)**
10	機能・帳票要件	国民年金保険料育児免除終了通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できる機能を新規追加する。**(実装必須機能)**
11	機能・帳票要件	育児免除申請に対応して、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できる機能を新規追加する。**(標準オプション機能)**
12	帳票詳細要件	育児免除申請をする新規帳票レイアウトに対応した帳票詳細を新規追加する。
13	帳票レイアウト	育児免除申請に対応した新規帳票レイアウトを新規追加する。

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.1

ツリー図に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 「ツリー図」の「No.2 免除」に新規業務フロー「2.5. 育児免除申請書受理・審査」の項目を新規追加する。

【新規追加】ツリー図

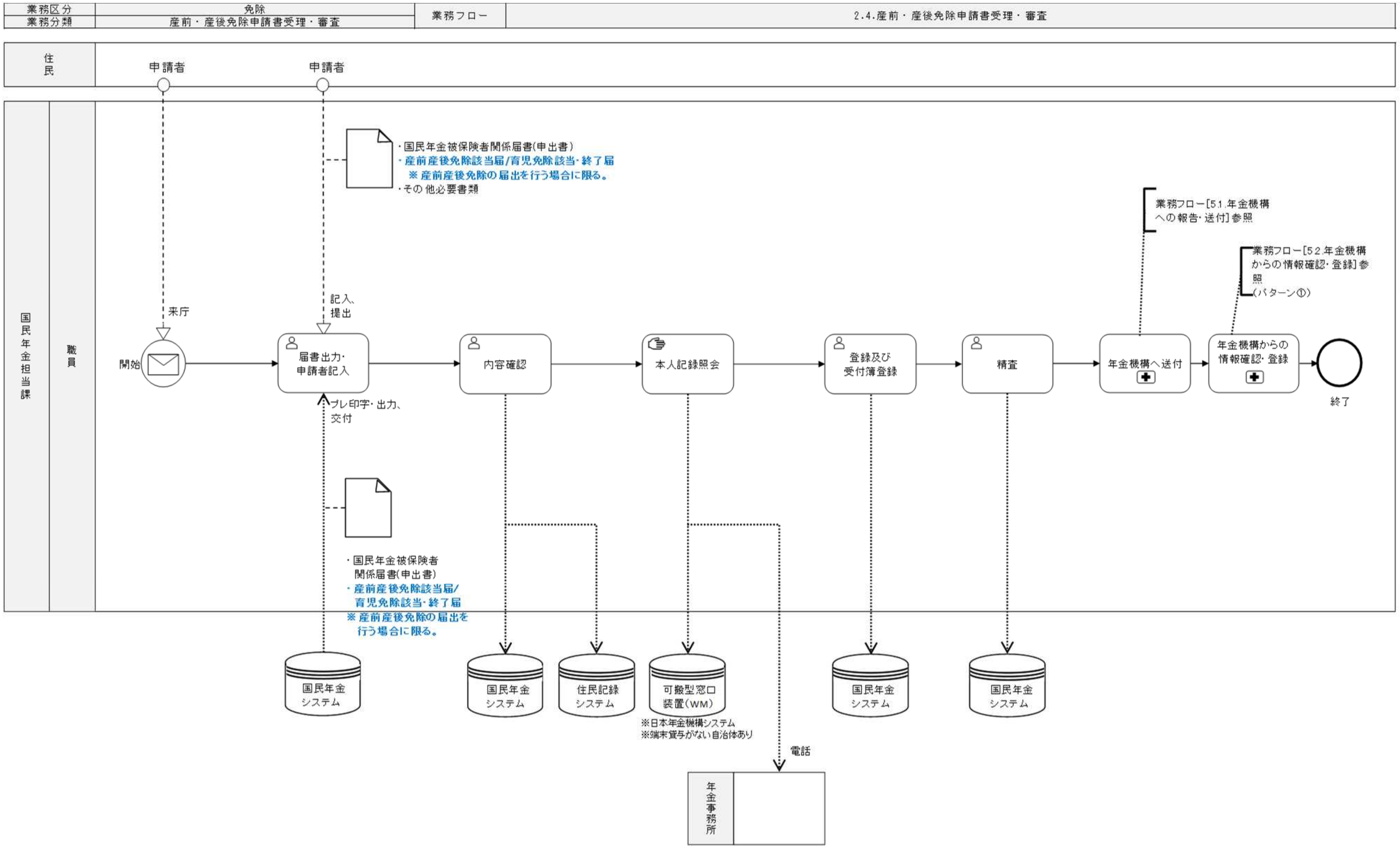
業務	事務				概要
	No	レベル1	No	レベル2	
国民年金	1	資格異動	・・・	・・・	・・・
	2	免除	・・・	・・・	・・・
			4	産前・産後免除申請書受理・審査	住民からの申請により、産前・産後免除申請書を受理・審査し、登録し、機構へ送付する。機構からの「産前産後免除該当一覧表」から結果の登録を行う。
			5	育児免除申請書受理・審査	住民からの申請により、育児免除申請書を受理・審査し、登録し、機構へ送付する。機構からの「国民年金保険料育児免除該当通知書発行一覧表」又は「国民年金保険料育児免除終了通知書発行一覧表」から結果の登録を行う。

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.2

業務フローに関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 既存の業務フロー(2.4. 産前産後申請書受理・審査)に新規帳票名を追加する。

改定案



2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.3

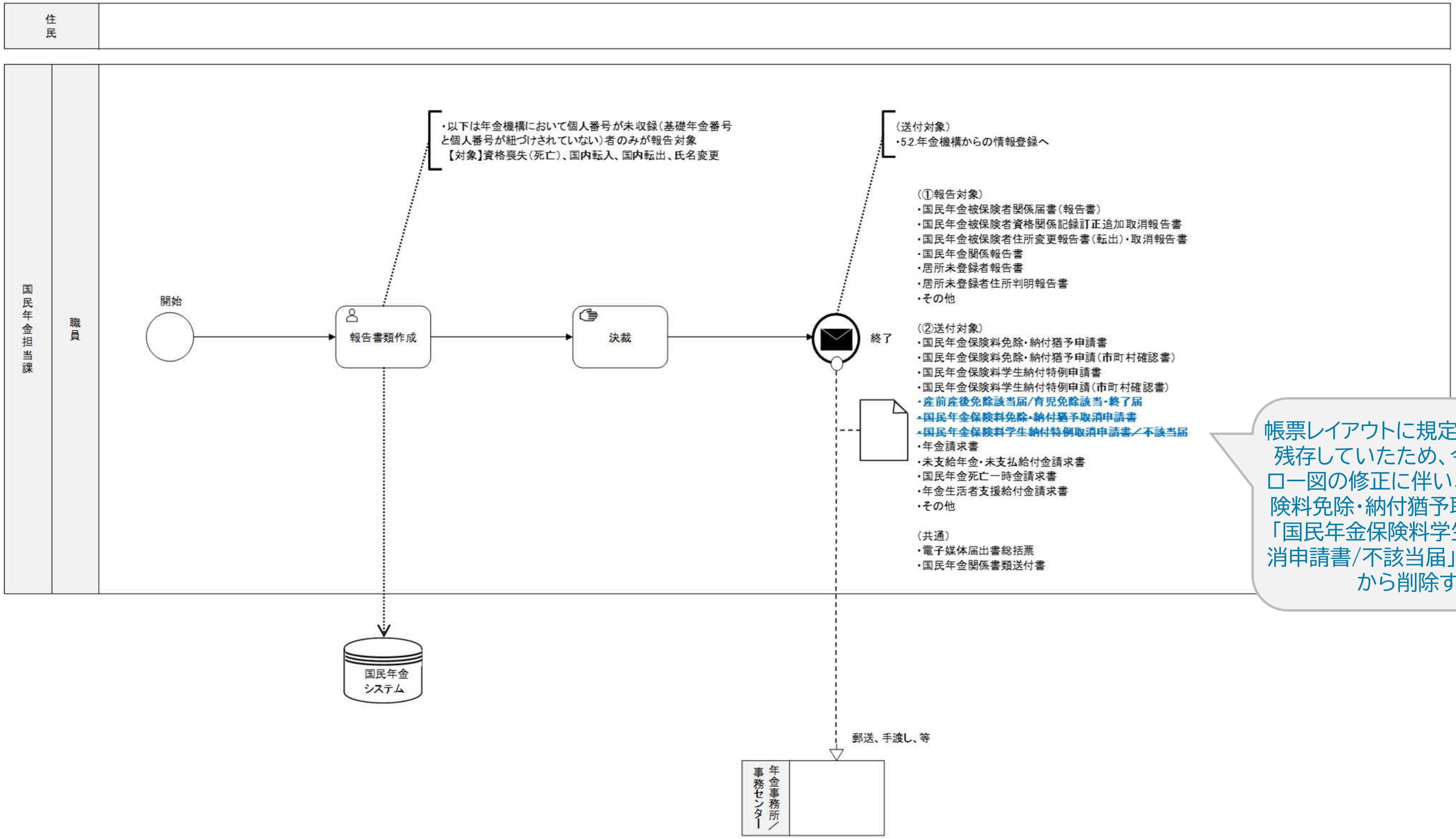
第1回WTからの修正箇所
- 育児免除の帳票を報告対象から送付対象に変更

業務フローに関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 既存の業務フロー(5.1. 年金機構への報告・送付)の送付対象に新規帳票名を追加する。

改定案

業務区分	年金機構への報告・年金機構からの情報登録	業務フロー	5. 1. 年金機構への報告・送付
業務分類	年金機構への報告・送付		



帳票レイアウトに規定のない帳票が残存していたため、今般の業務フロー図の修正に伴い、「国民年金保険料免除・納付猶予取消申請書」、「国民年金保険料学生納付特例取消申請書/不該当届」については図から削除する。

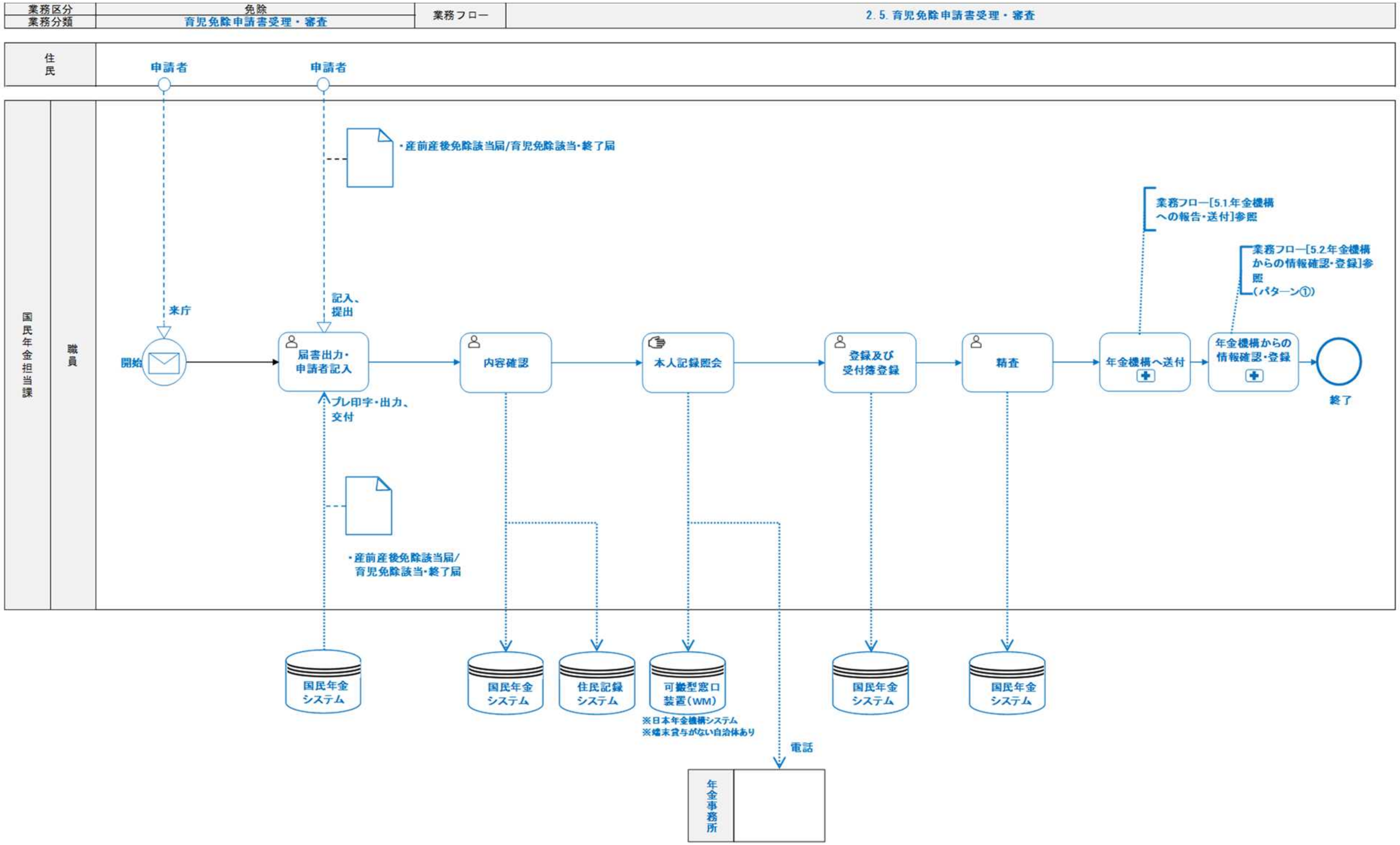
2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.4

業務フローに関する改定案について以下記載します。

※ 産前産後免除申請における業務フローを参考にしています。

対応事項
● 「育児免除申請書受理・審査」の業務フローを新規追加する。

【新規追加】業務フロー



2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.5

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除に係る登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(実装必須機能)

【参考】産前産後免除の機能 ※

機能ID	機能要件	区分
0260482	産前産後免除に係る登録・修正・削除・照会ができること 【管理項目】 基礎年金番号、届書等種類(申出書等の名称)、受付年月日、受付場所、出産の予定日又は出産日、単胎妊娠又は多胎妊娠の別、免除の始期・終期、報告対象有無区分、日本年金機構への報告年月日 ※住民記録システム連携に係る以下の項目については参照し、自動入力がなされ、表示できること 個人番号、氏名(漢字・カナ・ローマ字)、性別、生年月日、住所	実装必須機能

※ 新規追加する育児免除機能は、
既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

機能ID	機能要件	区分
XXXXXXX	育児免除に係る登録・修正・削除・照会ができること 【管理項目】 基礎年金番号、届書等種類(申出書等の名称)、受付年月日、受付場所、報告対象有無区分、日本年金機構への報告年月日、養育する子の情報(氏名、性別、個人番号、生年月日、実子・養子区分)、育児免除該当理由、育児免除該当日、育児免除終了事由、育児免除終了日 ※住民記録システム連携に係る以下の項目については参照し、自動入力がなされ、表示できること 個人番号、氏名(漢字・カナ・ローマ字)、性別、生年月日、住所	実装必須機能

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.6

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除に係る登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。（標準オプション機能）

【参考】産前産後免除の機能 ※

機能ID	機能要件	区分
0260246	産前産後免除に係る登録・修正・削除・照会ができること 【管理項目】 受付番号、番号法に基づく本人確認書類提出の有無、提出者への返付年月日（受付後の届書に不備等があった場合）、再受付年月日（不備訂正後の再提出があった場合）、却下通知年月日（再審査要の場合）、日本年金機構からの返戻年月日、電子媒体収録有無、処理結果受理年月日	標準オプション機能

※ 新規追加する育児免除機能は、
既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

機能ID	機能要件	区分
XXXXXXX	育児免除に係る登録・修正・削除・照会ができること 【管理項目】 受付番号、番号法に基づく本人確認書類提出の有無、提出者への返付年月日（受付後の届書に不備等があった場合）、再受付年月日（不備訂正後の再提出があった場合）、却下通知年月日（再審査要の場合）、日本年金機構からの返戻年月日、処理結果受理年月日	標準オプション機能

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.7

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除に係る履歴の登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(実装必須機能)

【参考】産前産後免除の機能 ※

機能ID	機能要件	区分
0260247	産前産後免除に係る履歴の修正・削除・照会ができること 【管理項目】 基礎年金番号、届書等種類(申出書等の名称)、受付年月日、受付場所、出産(予定)日、単胎妊娠又は多胎妊娠の別、免除の始期・終期、報告対象有無区分、日本年金機構への報告年月日	実装必須機能

※ 新規追加する育児免除機能は、
既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

機能ID	機能要件	区分
XXXXXXX	育児免除に係る履歴の修正・削除・照会ができること 【管理項目】 基礎年金番号、届書等種類(申出書等の名称)、受付年月日、受付場所、報告対象有無区分、日本年金機構への報告年月日、養育する子の情報(氏名、性別、個人番号、生年月日、実子・養子区分)、育児免除該当理由、育児免除該当日、育児免除終了事由、育児免除終了日	実装必須機能

ツリー図 | 業務フロー | 機能 | 帳票詳細 | 帳票レイアウト

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.8

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除に係る履歴の登録・修正・削除・照会ができる機能を新規追加する。(標準オプション機能)

【参考】産前産後免除の機能 ※

機能ID	機能要件	区分
0260248	産前産後免除に係る履歴の修正・削除・照会ができること 【管理項目】 受付番号、番号法に基づく本人確認書類提出の有無、提出者への返付年月日(受付後の届書に不備等があった場合)、再受付年月日(不備訂正後の再提出があった場合)、却下通知年月日(再審査要の場合)、日本年金機構からの返戻年月日、電子媒体収録有無、処理結果受理年月日	標準オプション機能

※ 新規追加する育児免除機能は、
既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

機能ID	機能要件	区分
XXXXXXX	育児免除に係る履歴の修正・削除・照会ができること 【管理項目】 受付番号、番号法に基づく本人確認書類提出の有無、提出者への返付年月日(受付後の届書に不備等があった場合)、再受付年月日(不備訂正後の再提出があった場合)、却下通知年月日(再審査要の場合)、日本年金機構からの返戻年月日、処理結果受理年月日	標準オプション機能

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.9

ツリー図 | 業務フロー | 機能 | 帳票詳細 | 帳票レイアウト

第1回WTからの修正箇所
- 対応事項に区分を括弧書きで追記

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 国民年金保険料育児免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できる機能を新規追加する。**（実装必須機能）**

【参考】産前産後免除の機能 ※

機能ID	機能要件	区分
0260317	国民年金保険料産前産後免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できること ※電子媒体での取り込みもできること ※週次で日本年金機構より提供される一覧 【管理項目】 基礎年金番号、単胎・多胎の別、産前産後免除の始期・終期期間	実装必須機能

※ 新規追加する育児免除機能は、既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

機能ID	機能要件	区分
XXXXXXX	国民年金保険料育児免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できること ※週次で日本年金機構より提供される一覧 【管理項目】 基礎年金番号、養育する子の情報（氏名、生年月日、実子・養子区分）、育児免除期間、育児免除該当事由、通知書番号	実装必須機能

ツリー図 | 業務フロー | 機能 | 帳票詳細 | 帳票レイアウト

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.10

第1回WTからの修正箇所
- 対応事項に区分を括弧書きで追記

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項

- 国民年金保険料育児免除終了通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できる機能を新規追加する。**（実装必須機能）**

【参考】産前産後免除の機能　※

機能ID	機能要件	区分
0260317	国民年金保険料産前産後免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できること ※電子媒体での取り込みもできること ※週次で日本年金機構より提供される一覧 【管理項目】 基礎年金番号、単胎・多胎の別、産前産後免除の始期・終期期間	実装必須機能

※　新規追加する育児免除機能は、
既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

機能ID	機能要件	区分
XXXXXXX	国民年金保険料育児免除終了通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できること ※週次で日本年金機構より提供される一覧 【管理項目】 基礎年金番号、養育する子の情報（氏名、生年月日、実子・養子区分）、育児免除期間、育児免除終了事由、通知書番号	実装必須機能

ツリー図	業務フロー	機能	帳票詳細	帳票レイアウト

第1回WTからの修正箇所
- 対応事項に区分を括弧書きで追記

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.11

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除申請に対応して、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できる機能を新規追加する。**（標準オプション機能）** ● 類似の機能について、同様の機能要件となるよう表記を統一する。（本資料P.27, P.28を参照）

【参考】産前産後免除の機能　※

中項目	機能ID	機能要件	区分
2.4産前産後免除申請書受理・審査	0260253	産前産後免除、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できること	標準オプション機能

※ 新規追加する育児免除機能は、既存の産前産後免除の機能要件を参考に作成しています。

【新規追加】育児免除の機能

中項目	機能ID	機能要件	区分
2.5. 育児免除申請書受理・審査	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できること	標準オプション機能

ツリー図 | 業務フロー | 機能 | 帳票詳細 | 帳票レイアウト

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.12

第1回WTからの修正箇所
- 帳票レイアウト(案)にない項目を削除
- 薄黄色の塗りつぶし箇所の内容を更新

帳票詳細要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除申請をする新規帳票レイアウトに対応した帳票詳細を新規追加する。

【新規追加】帳票詳細

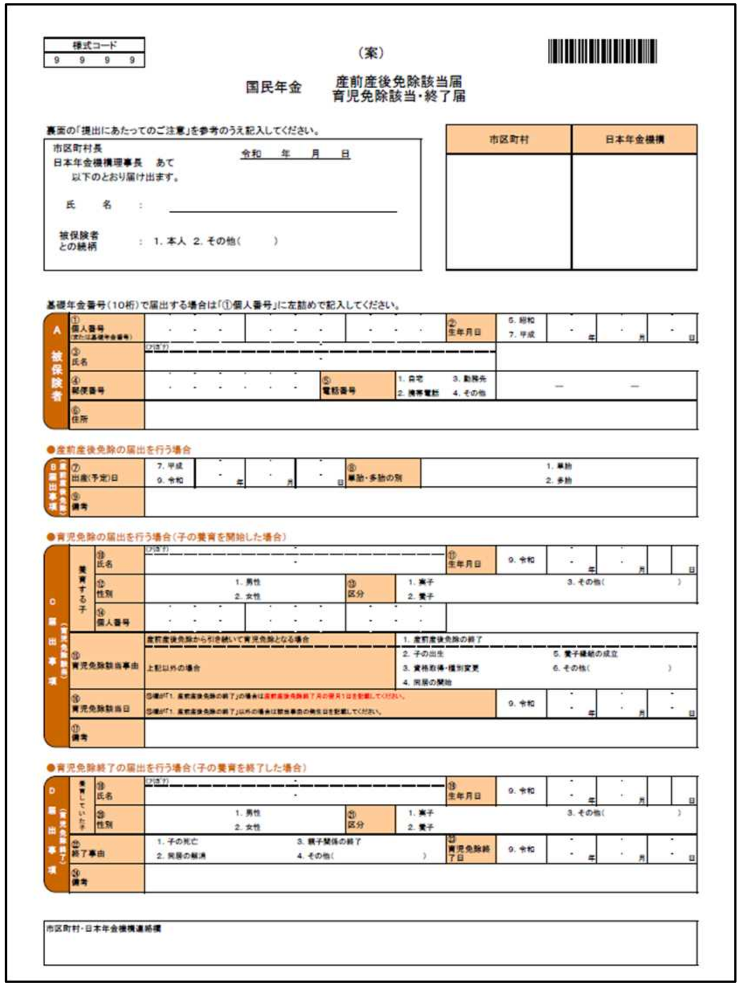
No	システム印字項目			備考(印字編集条件など)
1	被保険者	個人番号		
2		(または基礎年金番号)		項目の出力有無が設定できること
3		生年月日		和暦表記。該当する元号、および元号コードを表示する
4		氏名		・日本人の時 フリガナと漢字氏名 ・外国人の時(ローマ字氏名のみ登録がある場合) フリガナとローマ字氏名 ・外国人の時(ローマ字氏名以外に漢字氏名の登録がある場合) フリガナと漢字氏名
5		郵便番号		
6		電話番号		項目の出力有無が設定できること
7		住所		
8	届出事項(産前産後免除)	出産(予定)日		和暦表記。該当する元号、および元号コードを表示する
9		単胎・多胎の別		該当する項目に〇をつける
10		備考		画面上で入力した内容を出力できること
11	届出事項(育児免除該当)	養育する子	氏名	・日本人の時 フリガナと漢字氏名 ・外国人の時(ローマ字氏名のみ登録がある場合) フリガナとローマ字氏名 ・外国人の時(ローマ字氏名以外に漢字氏名の登録がある場合) フリガナと漢字氏名
12			生年月日	和暦表記。該当する元号、および元号コードを表示する
13			性別	該当する性別、および性別コードを表示する
14			区分	該当する項目に〇をつける
15			個人番号	
16		育児免除該当事由		該当する項目に〇をつける
17		育児免除該当日		和暦表記。該当する元号、および元号コードを表示する
18		備考		画面上で入力した内容を出力できること
19	届出事項(育児免除終了)	養育していた子	氏名	・日本人の時 フリガナと漢字氏名 ・外国人の時(ローマ字氏名のみ登録がある場合) フリガナとローマ字氏名 ・外国人の時(ローマ字氏名以外に漢字氏名の登録がある場合) フリガナと漢字氏名
20			生年月日	和暦表記。該当する元号、および元号コードを表示する
21			性別	該当する性別、および性別コードを表示する
22			区分	該当する項目に〇をつける
23		終了事由		該当する項目に〇をつける
24		育児免除終了日		和暦表記。該当する元号、および元号コードを表示する
25		備考		画面上で入力した内容を出力できること
26	市区町村・日本年金機構連絡欄			画面上で入力した内容を出力できること
27	バーコード			規格:CODE39、大きさ:縦10㎜程度、横30㎜程度とする、印刷位置:帳票レイアウトを参考にすること、余白:バーコードの周りに7㎜程度設けること、コード値:(調整中)

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
法令・制度改正への対応による改定対象一覧 No.13

帳票レイアウトに関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 育児免除申請に対応した新規帳票レイアウトを新規追加する。

【新規追加】帳票レイアウト(案)



2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
令和6年度からの申し送り事項による改定対象及び機能要件における精度向上、要件化範囲、内容の最適化

令和6年度からの申し送り事項による改定対象は、機能・帳票要件、帳票詳細要件に区分されます。

No.	区分	概要	改定対象事項数
1	機能・帳票要件	機能ID:0260480において、1.3版改定時に「要件の考え方・理由」の記載を誤って削除したため、次回改定時に修正する。また、元の記載自体にも誤字があるため修正する。	1
2	機能・帳票要件	機能ID:0260336における誤字を修正する。	1
3	帳票詳細要件	外国人の氏名入力の際、ローマ字以外に漢字登録のある場合の出力条件を見直す。	7

機能要件における精度向上、要件化範囲、内容の最適化による改定は、機能・帳票要件を対象としています。

No.	区分	概要	改定対象事項数
1	機能・帳票要件	異動に係る情報を一覧で確認する機能における要件の表記を統一する。	14
2	機能・帳票要件	機能ID:0260317から、電子媒体に関する記載を削除する。	2

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 令和6年度からの申し送り事項による改定対象一覧 No.1

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項

- 機能ID:0260480において、1.3版改定時に「要件の考え方・理由」の記載を誤って削除したため、次回改定時に修正する。また、元の記載自体にも誤字があるため修正する。

既存の機能

機能ID	機能要件	区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)
0260480	法定免除に係る登録・修正・削除・照会ができること 【管理項目】 基礎年金番号、届書等種類(申出書等の名称)、受付年月日、受付場所、免除理由、該当年月日、不該当(消滅・取消)年月日、納付申出有無、処理年月日、免除の始期・終期、納付申出有無(受付年月日、納付申出期間始期、終期)、報告対象有無区分、日本年金機構への報告年月日 ※住民記録システム連携に係る以下の項目については参照し、自動入力がなされ、表示できること 個人番号、氏名(漢字・カナ・ローマ字)、性別、生年月日、住所	実装必須機能		・受付場所は指定都市向け 【第1.3版】 機能ID:0260234から変更 (削除) ※管理項目について、宛名番号による自動入力以外に、手入力も可能とする。 免除理由について免除理由について該当する複数の理由毎に登録できることとする

改定案

機能ID	機能要件	区分	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)
0260480	法定免除に係る登録・修正・削除・照会ができること 【管理項目】 基礎年金番号、届書等種類(申出書等の名称)、受付年月日、受付場所、免除理由、該当年月日、不該当(消滅・取消)年月日、納付申出有無、処理年月日、免除の始期・終期、納付申出有無(受付年月日、納付申出期間始期、終期)、報告対象有無区分、日本年金機構への報告年月日 ※住民記録システム連携に係る以下の項目については参照し、自動入力がなされ、表示できること 個人番号、氏名(漢字・カナ・ローマ字)、性別、生年月日、住所	実装必須機能	・免除理由について、該当する複数の理由毎に登録できることとする。	・受付場所は指定都市向け

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
令和6年度からの申し送り事項による改定対象一覧 No.2

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 機能ID:0260336における誤字を修正する。

既存の機能

機能ID	機能要件	区分
0260336	日本年金機構に所得情報を提供する配偶者、世帯主を特定し、被保険者の所得情報をも含めて取り込めること	標準オプション機能

改定案

機能ID	機能要件	区分
0260336	日本年金機構に所得情報を提供する配偶者、世帯主を特定し、被保険者の所得情報をも含めて取り込めること	標準オプション機能

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 令和6年度からの申し送り事項による改定対象一覧 No.3

帳票詳細要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 外国人がローマ字氏名と漢字氏名を有する場合の氏名欄への出力条件について、漢字氏名を優先して出力するよう見直しを行う。

改定案

帳票ID	帳票名称	システム印字項目	備考（印字編集条件など）
0260001	国民年金被保険者関係届書（申出書）	氏名	・日本人の時 フリガナと漢字氏名 ・外国人の時（ローマ字氏名のみ登録がある場合） フリガナとローマ字氏名 ・外国人の時（ローマ字氏名以外に漢字氏名の登録がある場合） フリガナと~~ローマ字氏名と~~漢字氏名
0260002	国民年金被保険者関係届書（申出書）		
0260003	国民年金被保険者関係届書（申出書）		
0260004	国民年金被保険者関係届書（報告書）		
0260004	国民年金被保険者資格関係記録訂正・追加・取消報告書		
0260004	国民年金保険料免除・納付猶予申請書		
0260006	国民年金保険料学生納付特例申請書		
0260008	国民年金居所未登録者報告書		
0260009	国民年金居所未登録者住所判明報告書		
0260009	国民年金居所未登録者住所判明報告書		

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 機能要件における精度向上、要件化範囲、内容の最適化 No.1

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 異動に係る情報を一覧で確認する機能における要件の表記を統一する。 ※ 本資料P.20に合わせて、同じ機能に該当する機能要件の表記を統一しています。

既存の機能

中項目	機能ID	機能要件
2.3免除理由該当等届受理・審査	0260243	法定免除者、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できること
2.4産前産後免除申請書受理・審査	0260253	産前産後免除、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できること
1.1資格取得	0260108	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.2種別変更	0260117	転入者の中で国民健康保険加入の形跡がある年金未加入者情報、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.3資格喪失（死亡）	0260125	住民記録システムの異動情報、死亡者情報、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.4資格喪失（海外転出）	0260134	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.5資格喪失（60歳到達）	0260142	期間満了およびその予定者（60・65・70歳到達）情報、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること

改定案

中項目	機能ID	機能要件
2.3免除理由該当等届受理・審査	XXXXXXX	~~法定免除者、~~指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できること
2.4産前産後免除申請書受理・審査	XXXXXXX	~~産前産後免除、~~指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を一覧で確認できること
1.1資格取得	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を~~、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.2種別変更	XXXXXXX	~~転入者の中で国民健康保険加入の形跡がある年金未加入者情報、~~指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を~~、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.3資格喪失（死亡）	XXXXXXX	~~住民記録システムの異動情報、死亡者情報、~~指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を~~、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.4資格喪失（海外転出）	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を~~、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.5資格喪失（60歳到達）	XXXXXXX	期間満了およびその予定者（60・65・70歳到達）情報、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報を~~、被保険者情報について、~~一覧で確認できること

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議
機能要件における精度向上、要件化範囲、内容の最適化 No.1

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 異動に係る情報を一覧で確認する機能における要件の表記を統一する。　※ 本資料P.20に合わせて、同じ機能に該当する機能要件の表記を統一しています。

既存の機能

中項目	機能ID	機能要件
1.6資格喪失（その他）	0260156	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.7国内転入・転居	0260164	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、それぞれ一覧で確認できること
1.8国内転出	0260170	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.9氏名・性別・生年月日・住所変更（訂正）	0260179	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.10資格記録追加・訂正・取消	0260188	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること
1.11不在	0260197	不在、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動情報、被保険者情報について、一覧で確認できること

改定案

中項目	機能ID	機能要件
1.6資格喪失（その他）	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報~~を、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.7国内転入・転居	XXXXXXX	転入者の中で国民健康保険加入の形跡がある年金未加入者情報、指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報~~を、被保険者情報について、それぞれ~~一覧で確認できること
1.8国内転出	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報~~を、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.9氏名・性別・生年月日・住所変更（訂正）	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報~~を、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.10資格記録追加・訂正・取消	XXXXXXX	指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報~~を、被保険者情報について、~~一覧で確認できること
1.11不在	XXXXXXX	~~不在、~~指定した異動事由で抽出された異動情報、報告を必要としない異動に係る情報~~を、被保険者情報について、~~一覧で確認できること

ツリー図 | 業務フロー | 機能 | 帳票詳細 | 帳票レイアウト

2. 令和7年度の標準仕様書の改定に向けた討議 機能要件における精度向上、要件化範囲、内容の最適化 No.2

機能要件に関する改定案について以下記載します。

対応事項
● 機能ID:0260317から、電子媒体に関する記載を削除する。

既存の機能

機能ID	機能要件	区分	要件の考え方・理由
0260317	国民年金保険料産前産後免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できること ※電子媒体での取り込みもできること ※週次で日本年金機構より提供される一覧 【管理項目】 基礎年金番号、単胎・多胎の別、産前産後免除の始期・終期期間	実装必須機能	電子媒体は「国民年金処理結果一覧表媒体作成仕様書」に準拠していること

改定案

機能ID	機能要件	区分	要件の考え方・理由
XXXXXXX	国民年金保険料産前産後免除該当通知書発行一覧表の情報を国民年金システムに登録できること ~~※電子媒体での取り込みもできること~~ ※週次で日本年金機構より提供される一覧 【管理項目】 基礎年金番号、単胎・多胎の別、産前産後免除の始期・終期期間	実装必須機能	~~電子媒体は「国民年金処理結果一覧表媒体作成仕様書」に準拠していること~~

3. 令和8年度業務効率化に向けた構成員へのヒアリング

3. 令和8年度業務効率化に向けた構成員へのヒアリング 議題案に対するヒアリングと進め方

令和8年度以降の業務効率化に向けた討議・報告事項5件のうち、No.2、4、5、6については構成員の皆様にヒアリングさせていただいた上で、8月の研究会にて取りまとめ結果を報告する予定としています

No.	対象	ヒアリング項目の想定
2	「被保険者・受給者情報管理」機能の拡充(年金相談)	• 障害基礎年金　相談シートの活用状況 • 障害基礎年金　相談事跡管理の方法 • 障害基礎年金　システム対応の是非or要否(メモ機能拡充、管理項目の追加等) • その他のシートの活用状況
4	標準化後の「16歳以上19歳未満の扶養親族数」の確認方法	• 現行システムでの確認状況、確認方法(税務システムとの連携有無) • 標準化後の確認方法
5	「書かない窓口」の実現に向けた検討	• 「書かない窓口」の取り組み内容(実施状況、実施内容)
6	「交付金事務」の業務改善等に係る検討	• 交付金事務の作業方法 • 交付金事務作業上の負担 • 交付金事務の改善要望

令和8年度業務効率化に向けたヒアリングの進め方

Step1 現行業務・事務の把握	Step2 取りまとめ・分析	Step3 研究会での討議・報告	Step4 改定方針検討
5月～6月	7月	8月	令和7年度 下期
• ヒアリング項目の検討・作成 • 構成員へのヒアリング実施	• ヒアリング結果の取りまとめ • 課題・影響範囲の特定 • 討議・報告の検討	• 研究会資料の作成 • 研究会の開催 • 研究会の振り返り・まとめ	• 進め方の再整理、追加ヒアリング • 標準対象の検討 • WT/分科会/研究会での討議・報告

４．８月末改定に向けたスケジュール

4. 8月末改定に向けたスケジュール
本研究会のスケジュール – 8月末改定に向けた研究会の進め方

第1回WT/ベンダー分科会では改定対象と改定内容の討議・確認を実施。第1回研究会では意見照会の進め方、照会内容を、第2回研究会では意見照会の結果を踏まえた標準仕様書の改定内容について討議・確認していただきます

8月末の標準仕様書改定に向けた進め方

2025年5月15日 第1回WT

- 令和7年度の標準仕様書改定対象および改定方針・内容の確認
- 原則「育児期間における保険料免除措置」に関する改定のみ対象
  - 誤植・誤記対応を含む

→ 改定対象 / 改定内容

2025年5月19日 第1回ベンダー分科会

- 令和7年度の標準仕様書改定対象および改定方針・内容の確認
- 原則「育児期間における保険料免除措置」に関する改定のみ対象
  - 誤植・誤記対応を含む

→ 改定対象 / 改定内容

2025年6月3日 第1回研究会

- 標準仕様書の改定に向けた意見照会の進め方、照会内容の確認

→ 意見照会の進め方 / 意見照会シート

6月中旬～7月上旬 意見照会

2025年8月上旬 第2回研究会

- 意見照会の結果を踏まえた標準仕様書の改定内容の確認

→ 意見照会を踏まえた改定内容 / 第1.4版標準仕様書

8月末 第1.4版標準仕様書発出

☞ 8月末以降の進め方は第2回研究会で報告する予定としております

EOF